

里山里海湖リーダーズカレッジ 2016

<つなげ・伝える 里山里海湖文化>



里山里海湖保全の意識醸成を図り、里山里海湖の環境を守っていくためには、専門的な学問や科学の支えが必要であるとともに、多くの人々が自然体験や自然再生活動を行うことが重要です。

そこで、福井県里山里海湖研究所では、地域で活躍する自然再生団体等の活動者のレベルアップや県民の関心を高めるための講座を年5回開設します。

この講座を通じて、福井県の里山里海湖の保全・再生についていっしょに考えましょう。

- 主 催 : 福井県里山里海湖研究所
対 象 : 一般県民
会 場 : AOSSA(アオッサ)6階 福井市地域交流プラザ 研修室(607)
(福井市手寄1丁目4-1 JR 福井駅東口徒歩1分)
受講料 : 無料
定 員 : 70名

■申込み方法・問合せ先

申込書に記入の上、ファックスまたはメールをしてください。申込書の内容をはがきに記入の上、送付いただいても結構です。

・申込先 〒919-1331 三方上中郡若狭町鳥浜 122-31-1 福井県里山里海湖研究所
Tel: 0770-45-3580 Fax: 0770-45-3680 E-Mail: satoyama@pref.fukui.lg.jp

■受講上の注意

- ・当日は、受付で出席確認を受けてください。
- ・環境への配慮からできるだけ公共交通機関をご利用ください。
主催者側で駐車券の用意はありません。
- ・定員に達した場合にはお断りすることがあります。



里山里海湖リーダーズカレッジ 2016 開催講座一覧

No	日時	講師	講師のプロフィール	演題	講座内容など
①	7/28(木) 18:30～ 20:00		<p>澁澤 寿一 氏 (しぶさわ じゅいち)</p> <p>福井県里山里海湖研究所 研究アドバイザー NPO法人「樹木・環境ネットワーク協会」、 「共存の森ネットワーク」理事長 農学博士</p>	「里山の暮らしから見える、 未来の社会と地域活性化」	1960年代を境に石油資源に 依存する社会へと移行し里山 は忘れられてきた。価値の共 存・持続可能性などの危機が 語られる現代、里山の利用か ら未来の社会を考える。
②	8/4(木) 18:30～ 20:00		<p>向笠 千恵子 氏 (むかさ ちえこ)</p> <p>フードジャーナリスト 食文化研究家 農水省「ディスカバー農山漁村の 宝」有識者懇談会委員など 著書に「和食は福井にあり」、「食の 街道を行く」などがある。</p>	「『食』は福井にあり-里・里 山・里海湖の暮らしから生ま れた食文化-」	海山里に恵まれた福井県は、 いわば日本の食を凝縮したよ うに、豊かな和食文化が花開 いている地域。特産食材を生 かした伝統的な「地産池消」の 知恵をご紹介する。
③	9/16(金) 18:30～ 20:00		<p>宮田 正信 氏 (みやた まさのぶ)</p> <p>東京農業大学非常勤講師 海外農業開発協会専門委員 東京農業大学農学部で長年果樹園 芸学、社会園芸学を指導。東南アジ ア各国で農業指導や環境緑化、地 域再生事業を行う。</p>	「環境保全活動での内発性 について-小笠原環境ボラ ンティア活動を通して-」	豊かで持続的な社会の構築 に環境問題への取り組みは欠 かせない。誰もが最優先課題 だと考えているが、展開は容 易でない。内発性を高めるた めの取り組みについて考える。
④	10/7(金) 18:30～ 20:00		<p>橋本 裕之 氏 (はしもと ひろゆき)</p> <p>追手門学院大学地域創造学部 地域創造学科教授 東北文化芸術研究所副所長</p>	「郷土芸能で地域づくり、地 域づくりで郷土芸能 -福井県と岩手県の事例を 通して-」	福井県の事例のみならず東日 本大震災以降に手がけた岩 手県の事例も参照しながら、 郷土芸能と地域づくりを関連さ せる活動の理念と実際を紹介 する。
⑤	11/11(金) 18:30～ 20:00		<p>夜久 恭裕 氏 (やく やすひろ)</p> <p>NHK大型企画開発センター ディレクター [NHKスペシャル]や「クローズアップ 現代+」など報道番組を担当。 共著に「里山資本主義 日本経済は 安心の原理で動く」など</p>	「福井と里山資本主義」	身近な資源を生かし豊かに暮 らす生き方が注目されている。 かつて里山で培われた知恵を 現代風にアレンジする「里山 資本主義」。21世紀、地方に 生きる道を探る。

受講申込書<<FAX:0770-45-3680>> ※は必須記入項目

(ふりがな) 氏名 ※	() (男・女)	所 属	
住 所 ※	〒		
電話番号 ※	メール アドレス	メールでの情報発信 (希望する・希望しない) ※今後、本講座等のメールでの情報配信を希望されるか否か ○をつけて下さい	
受講申込欄 ※	1. 全講座を申し込む 2. 講座ごとに申し込む(申し込む講座に○をつけてください。) (7/28 8/4 9/16 10/7 11/11)		